

2021事業年度

一般財団法人宇部市文化創造財団

事業計画書

2021年2月

## 2021事業年度 事業計画書

### I 基本方針

昨年は、新型コロナウイルスに明け暮れた1年でした。感染拡大防止の観点から、2度の休館を余儀なくされ、数多くのコンサート・事業が中止または延期に追い込まれました。

このような中で、本財団は8年目を迎えます。新型コロナウイルスの終息はまだまだ見えない状況ではありますが、文化・芸術が持つ「癒しの力」が、人々の心に今こそ必要であることは、ハッキリわかりました。そのため、本財団は、宇部市渡辺翁記念会館（以下、「記念会館」という。）及び宇部市文化会館（以下、「文化会館」という。）の指定管理者として、引き続き、市民の方々に文化・芸術の持つ「人間が人間らしく生きるための糧、生きる力、生きる喜び」という本来的価値をいかに享受していただくかを念頭におきながら、両会館の新型コロナウイルス感染症対策を含めた管理運営と文化事業を推進してまいり所存です。

このため、これまでの指定管理者としての実績と経験を踏まえ、新たな視点、利用者の視点に立ち、また、市制施行100周年の先も見据えた計画、取組を行っていけるよう、主として次のことを重点的に取り組んでいきます。

- 1 市策定の「第四次総合計画・後期実行計画」や「第二次文化振興ビジョン」の施策と連動しながら、引き続き組織目標の設定や業務の計画・執行を図る。
- 2 両会館の歴史や特性を踏まえ、館内外を有効活用した事業や宣伝を実施するとともに、子ども達や若者が集える環境をつくり賑わいを創出していく。  
また、市の重点プロジェクトである「ICT・地域イノベーション推進プロジェクト」と連携し、ICT・IoTを活用した記念会館・文化会館の事業運営・サービス向上を図るシステムを導入していくとともに、革新的な技術を様々な分野に展開していく  
加えて、コロナ禍における新しい文化の提供手段として、コンサートや展示会等の様子を映像配信することにより、積極的に伝えていく。
- 3 「市制施行100周年」における文化事業等に積極的に参画していくため、文化・芸術に関する様々な経験とノウハウ、活動を支える組織力を活かしながら、これまで財団で育成してきた人材を動員して実施できる事業を展開する。また、将来の文化活動をけん引していく市民等の育成を更に図るとともに、今まで以上に子ども達が文化を通して将来に夢を持ちチャレンジしていける機会の創出を図る。
- 4 自主文化事業の実施については、2019年度から5年間の中期的実施テーマを「人と人 人と文化をつなぐ ～会館に集い・出逢いの場に～」と定めたことから、本テーマを基に、事業の選定と実施を行い、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の市民が、いつでもどこでも文化に触れる機会を創出する。なお、会場等における新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き、徹底していく。
- 5 市が実施する『東京2020オリンピック・パラリンピック』レガシー形成事業」を市と連携して実施し、地元への誇りや愛着心を育てていけるよう進める。
- 6 市民一人ひとりがアートに触れることができる“まち”、誰もがアートを楽しむことができる“まち”の実現を目指すための人材を育成していくとともに、それぞれの実践的な活動を支援する。

## II 事業概要

定款第4条に掲げる6事業について、具体的に以下のとおり実施する。

### 1 文化行事開催事業

\*2021年度自主文化事業の実施テーマ「受け継がれてきたレガシー（功績の遺産）を次世代へ」  
～原点帰帰・音楽堂として優れた記念会館 永久（とわ）に～を念頭に

#### (1) ステージ事業

##### ●自主文化事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	【目的】【効果】【公演ジャンル・本数】	会場	事業費
1	日程調整中	<p>【目的】記念会館・文化会館それぞれのホールの特性を活かしたアーティストの公演を実施、文化・芸術にふれる機会の創出と、様々なジャンルの鑑賞機会を提供する。</p> <p>【効果】2020年のコロナ禍における閉塞的かつ我慢を強いられる生活の中でも、公演を通じて、それぞれの経験価値が高まり、鑑賞者の生きる力、生活の活力、そして心の癒しとなる。</p> <p>【公演ジャンル・本数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆クラシック・・・・・・・・・・2本〔主催1〕 〔共催1〕</li> <li>◆演劇・・・・・・・・・・・・・・1本〔主催1〕</li> <li>◆ポップス&amp;ジャズ・・・・・・1本〔主催1〕</li> <li>◆バラエティー・・・・・・・・・・1本〔共催1〕</li> <li>◆古典芸能・落語独演会・・2本〔主催2〕</li> </ul>	記念会館 文化会館	6,674 — 6,668 4,611 4,934 3,320

##### ●市受託事業【ステージ事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	8月1日 (日)	「全国小・中学生 箏曲コンクール in 宇部」 【継続事業】	全国の小・中学生を対象にコンクールを開催し、伝統文化である箏曲の普及・振興を図るとともに、地域文化活動の促進や子ども達の豊かな人間性と情操の育成を図る。	文化会館	726
2	12月26日 (日)	「第九『歓喜の歌』2021 in 渡辺翁記念会館」 (仮称)【継続事業】	初回の指揮者である松下京介氏を迎え市制100周年における1年を締めくくる。	記念会館	234
3	8月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』(仮称) 【継続事業】	2021年度は、「全国小・中学生箏曲コンクール」を皮切りに、「第九『歓喜の歌』2021in 渡辺翁記念会館」までの期間のステージ事業をトータルで「宇部市『芸術祭』(仮称)とし、各種文化団体と協力し実施する。	文化会館 ほか	—

(2) 展示事業

●自主文化事業【展示事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	未定	展示事業 コラボレーション芸術祭 【継続事業】	50年以上続く芸術祭の展示事業と財団の企画する展示事業がコラボレーションすることにより、新たな発見と感動を生み出すとともに、芸術祭の新展開につなげる。	文化会館	100

●市受託事業【展示・文芸事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	8月～ 12月 (予定)	「宇部市『芸術祭』(仮称) 【継続事業】	2021年度は、「展示部門」「文芸部門」等、8月から12月までの期間を「宇部市『芸術祭』(仮称)」とし、各種文化団体と協力し実施する。	文化会館 ほか	1,207

2 文化活動支援及び人材育成事業

(1) 活動支援事業

●【文化事業協力・広域連携事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	「若手音楽家育成」事業支援 【継続事業】	市内で吹奏楽を行っている児童・生徒及び、宇部ジュニア・アンサンブルのメンバーたちの技術のレベルアップを図る事業。アーティスト・イン・レジデンス事業と連携して、指揮者による楽曲指導などを実施し、将来的に吹奏楽とアンサンブルとのコラボレーションを実施していく素地をつくり、育成を図る。	—	200
2	適宜	「記念会館活用・活性化PR事業」 【継続事業】	文化に触れる機会の少ない層への会館来場のきっかけづくりと、記念会館のロビーや特性をいかしながら事業を実施する。地元アーティストの活用や食等のイベントを交えることで、記念会館及び市の中心部の賑わいを創出する。また、記念会館・文化会館の利用者を拡大していくため、新たな利用方法なども含め、PRや広報宣伝を継続的に実施する。 *2020度は11/7(土)「宇部ハーモニカコンサート in 記念会館2階ロビー」、11/29(日)「ソプラノ&テノールジョイント・リサイタル」、2021年3/10(水)「レコード視聴会/My favorite Room」を開催。	記念会館	100

●【市民文化活動支援事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名／実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	事業費
1	募集 4月 以降 (予定)	「市民文化活動支援事業」 【継続事業】 市内で開催される文化事業で、財団が定める要件を満たす事業を対象に、当該事業を実施する団体に対し、助成金(予算の範囲内)の交付やチケット販売・広報の支援を行う。 次世代育成や社会的貢献性の高い事業を重視する。	【目的】先人が育んできた宇部独自の文化活動や次代を担う青少年等への人材育成に対して支援し、市民と財団が協働で文化によるまちづくりを推進する事業。 【効果】人材育成や他団体とのコラボレーション、市民参加のワークショップ実施から成果発表等、特色ある事業に対して助成することにより、次世代の青少年の健全な育成や文化活動団体の育成につながる。 【ターゲット】宇部市内の文化活動団体	300

(2) 人材育成事業

①文化活動者等市民に対して

●【人材育成・創造事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	【目的】【効果】【公演ジャンル・本数】	会場	事業費
1	日程 調整中	【目的】次代を担う世代に、良質な文化・芸術を鑑賞・体験する機会を提供することで、心豊かに健やかに育っていく環境整備を図る。また、より広い視野で世界の文化に触れることにより、鑑賞者一人ひとりの国際理解、多文化共生へとつながる。 【効果】公演を鑑賞することで、文化・芸術がより身近なものとなり、また、鑑賞とワークショップを連動させた事業を実施することで、より文化に興味関心を持った鑑賞者の育成と、音楽文化の底辺の拡大を図ることとなる。また、他国の文化に触れることで、改めて自国の文化や地元宇部の素晴らしさに気づき、誇りをもつことにつながり、ひいては心豊かに生活できる町づくりにつながる。  【ジャンル・本数】 *いずれも継続事業 〔次世代育成〕 鑑賞&ワークショップ 演劇又は子ども向け・・・1本 〔国際交流イベント実施事業〕・・・・・・・・・・1本 〔次世代育成〕 鑑賞&ワークショップ 古典芸能・・・・・・・・1本 〔ワークショップ〕 コミュニケーション・ダンスに重点をおいたワークショップ・・・1本 音楽に重点をおいたワークショップ・・・・・・1本	記念 会館 ・ 文化 会館 ・ 市内	3,011 2,773 2,613 500 500

(単位:千円)

No.	実施時期	【事業名】【目的】【効果】	会場	事業費
2	調整中	<p><b>【事業名】</b>            フィジカルディスタンス「思いやりの時間～心はすぐそばに～」            (旧「心とアートのバリアフリー事業」) <b>【継続事業】</b></p> <p><b>【目的】</b>            幼児から高齢者、障がいを抱える方、また外国の方など、誰もが楽しめる文化事業を実施する。会館への来場を待つだけでなく、様々な場所へ出向いて文化を届けるなど、市民のニーズを満たしていくとともに多文化共生を考えるきっかけづくりにつながる。</p> <p><b>【効果】</b>文化事業等への参加を通じて、感動や出来る喜びを体験し、経験価値が高まることで、心豊かに生活できるまちづくりにつながる。            *2020 度は「フィジカルディスタンス公演『思いやりの時間～心はすぐそばに～』」12公演(スピンオフ公演含む)を実施</p>	記念 会館 ・ 文化 会館 ・ 市内	150

●市受託事業【普及・育成事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	7月 ～ 2月 (予定)	子ども伝統文化 わくわく体験学校 <b>【継続事業】</b>	華道、詩吟、舞踊など伝統文化のほか、多彩なジャンルの体験教室を開催。	文化 会館他	60
2	9月 ～ 1月 (予定)	子ども文化夢教室 <b>【継続事業】</b>	各ジャンルの指導者による、学校でのアウトリーチ・ワークショップ型文化教室を開催。	各小学校	560
3	未定	子ども夢・チャレンジ事業 <b>【継続事業】</b>	アーティストを招き、子どもたちに将来への夢や希望・目標などを考える機会を創出する。	記念会館	652
4	通年	アート・パフォーマー ・バンク管理運営 <b>【継続事業】</b>	市にゆかりのあるアートパフォーマーの人材情報を集積・管理し発信する制度＝アートパフォーマーバンクの運営を行い、人材の活動の場を支援する。	—	229
5	通年	アートコミュニティ 構築促進事業 <b>【継続事業】</b>	市民の創造的な活動を支援し、誰もが気楽に文化に触れられる機会を創出する人材を養成する講座を実施する。	俵田 体育館	(3,400)

## ②財団職員に対して

- 【接遇の向上】サービスの向上のためには、職員の接遇意識・技術の向上が必要不可欠である。内部研修だけでなく外部講師を招いての研修を実施し、「おもてなし」の心での接遇を念頭におき職員の接遇に対する利用者の声には速やかに対応し、職員の意識改革を行っていく。具体的な接遇の向上の方策としては、徹底的な研修の必要性があるため、公立文化施設向けのサービス対応研修を受講するなど、より一層のサービスの向上を図る。

市民や会館利用者及び来場者等を気持ちよく迎え、笑顔で帰っていただくことを第一義に考える。特に、障がい者への差別解消や自主的な配慮を実践し、その他高齢者や子ども等に対しても細やかに配慮する。

- 【人権研修・ハラスメント研修・メンタルヘルス研修の実施】職員の人権意識等を高めるために専門講師を招聘して人権研修やメンタルヘルス研修を実施し、明るく働きやすい職場づくりを推進するとともに、利用者の立場に立った配慮ある対応へつなげていく。

また、内部研修や、職員ミーティングの拡充等を図り、組織全体の意思疎通や能力の向上を進めていく。

- 【外部研修への参加】引き続き全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会が実施する研修や、文化庁の講師派遣型支援事業の活用を図り育成を進める。  
なお、ホームページやZOOM等での講義動画視聴するオンライン研修会等を活用する。

### 【具体的な研修事例】

- ◇全国劇場・音楽堂等研究大会
- ◇全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会
- ◇劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援（派遣型）事業
- ◇地域創造 ステージラボ 等

- 【職員の資質向上】防犯・防火・地震対策、AED研修等の会館利用者に対する安全対策、障がい者対応、関係法令等の内部研修会や外部講師による非常時等の危機管理研修を実施する。また、両会館の舞台等技術職員には、新しい技術や知識を取得するなど、必要な研修会に積極的に参加できる体制をつくる。また、取得した知識や技術を他の職員にも還元し、職員間の交流が活発になるようにする。

職員全体が組織の健全・円滑な経営感覚をもちながら、常に予算等の進捗管理を念頭において、業務に取り組んでいく。

## 3 意識啓発及び情報発信事業

### (1) 意識啓発事業

- 文化活動団体や地元企業団体等の会合に積極的に参加し、財団のPRや友の会への勧誘、自主文化事業の宣伝を行い、財団の支援者や理解者を増やしていく。

- テレビやラジオなどのメディアに積極的に出演し、財団の取組や実施事業等を宣伝し、啓発の効果を高めていく。

- 行政、文化団体、観光コンベンション協会等との連携を強化し利用促進を図る。

●利用率の低い時期、年度などあるため、県外プロモーターや県内企業等を訪問し、利用促進プラン等をPRするなど、積極的な営業活動を行っていく。

●マスコミや県外プロモーターなどへ記念会館での鑑賞事業の開催を働きかけるなどの取組も行っていく。

●過去利用者、行政、文化団体、学校等へ働きかけて利用促進につなげていく。

●財団友の会

- ・財団の重要な支援者である財団友の会。財団の活動を理解いただき、会員数の確実な増員を図るため、リピーターとして来場いただける魅力的な自主文化事業の企画立案に努める。財団友の会チケット先行予約、チケット価格設定等工夫を凝らしていく。
- ・文化・芸術に対する最大の理解者であり、財団を支えてくださっている「お得意様」である。財団の重要な支援者である会員との関係性を深めていくことが重要であり、年間の会員の更新率を高めるため、サービスの向上を検討していく。
- ・新規会員の入会を促すため、魅力的な事業を実施することはもとより、会館へ足を運んでくださるお客様へ、文化・芸術への興味関心を高める内容のチラシ配布など「将来の会員を育成する」視点でアプローチを実施していく。

●財団市民サポーター

- ・財団の重要な支援者である財団市民サポーター。参加者一人ひとりの役割や意義を浸透させ、市民の方々の関心を高め、賛同者や加入者を今後も増やしていく。
- ・加入者との連絡体制を密にし、積極的に情報提供していくことで、イベント時の協力参加者の方が増えるように努める。
- ・年度当初には、財団職員とサポーターとの意見交換の場や合同の研修会を行うとともに、表彰や特典付与制度など、活動に充実感や達成感を得られるようにすすめていく。
- ・安全・安心に配慮しながらコロナ禍でも活動できる内容を模索する。

(ア) 友の会 会員数【H25~30・2019実績／2020目標／2021.1月末の現状／2021目標】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	2019	2020 目標	2021.1月 末現在	2021 目標
個人会員 (人)	61	167	323	402	428	507	456	460	433	470
法人会員 (団体)	6	14	25	46	44	33	44	47	39	48

(イ) 財団市民サポーター数

【H25~30・2019実績／2020目標／2021.1末の現状／2021目標】

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	2019	2020 目標	2021.1月 末現在	2021 目標
サポーター数 (人)	31	39	47	56	61	59	53	66	54	69



## (2) 情報発信事業

### ●「メディアミックス」

新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・フェイスブック・インスタグラムなどのSNSを事業内容に応じて組み合わせ、効果的な情報発信を行っていく。

### ●情報誌「イベントガイド」「イベントインフォメーション」

掲載内容やトップページに工夫を凝らし、市民の方々が興味を持ち、会館に足を運んでいただき公演の鑑賞者やイベントへの参加につながる誌面作りに努める。情報誌「イベントガイド」については点訳を行う等、どなたにも情報を届けられるよう「合理的配慮」を行っていく。

### ●「ホームページ」

障がいを持った方をはじめ、高齢者や子どもなど、誰でもわかりやすい表示に努め、財団自主文化事業だけでなく、記念会館・文化会館等で実施されるイベントをタイムリーに情報提供していく。

### ●その他

無料で掲載できる冊子やパブリシティ等を積極的に活用するとともに、他の組織の情報誌やホームページ等への掲載利用を行い、効果的な発信を行っていく。

## 4 調査研究及び資料収集事業

### (1) 調査研究事業

●コロナ禍を勘案し、利用者からのアンケート収集にはQRコードを用い、その結果や他都市の財団や文化施設などからの情報をもとに、マーケティング分析等を行い、自主文化事業の選定や今後の財団運営方法を常に検討していく。

●ペアチケットやグループチケットの設定、障がい者や外国の言語等に配慮したチケット販売方法を研究するとともに、導入したチケット販売システムでいつでもどこでもインターネットを利用しチケット購入できるよう利便性を高め、利用者の購買意欲向上につなげる工夫をしていく。

### (2) 資料収集事業

●安定した事業経営や規模の大きい文化事業を実施している先駆的な他団体のノウハウ等を吸収するための資料収集を進めていく。

●県内外の大手プロモーター等との日頃からのコンタクトや積極的な直接訪問により、信頼関係づくりの構築とともに、有益な情報収集を図る。

●全国公立文化施設協会や山口県公立文化施設協議会をはじめ、助成金支援を実施している団体等からの情報をこまめに収集し、市民や文化活動団体へ情報を効果的に提供していく。

## 5 施設管理運営事業

### ●維持管理業務

- ①【重要文化財・記念会館の保存と活用】国指定重要文化財である記念会館は、一部改正された文化財保護法から、適切な保存と効果的な活用を念頭に置いた管理運営を行う。
- ②【安全・安心な適切な管理】危機管理体制の充実や安全衛生活動の促進、利用者への案内、警備員による巡回等により、利用者が安全な環境の中で安心し、快適に施設を利用できるよう努める。また、館内の各所に手指消毒液の設置の他、手すりやドアノブ等の接触箇所の定期的な消毒や、会場利用後の座席の消毒等、感染症対策の徹底を行う。
- ③【利用者への適切な使用法のご案内】破損などが生じた場合、原状回復ができない部分がある記念会館は、その点を利用者の方々にもご理解いただき、机・椅子等を動かす時には引きずらないなど、適切な使用法をご案内し、保存に努める。
- ④【職員の安全衛生・危機管理意識の徹底】経験豊かな人材を配置し、文化施設としての機能を十分果たせる管理業務を行う。
- ⑤【効率的で経済的な維持管理と適切な保守点検の実施】効率的で経済的な維持管理に努め、管理経費の節減を図る。施設の老朽化に伴い、今後益々適切な維持管理が必要となるため、定期的な保守点検だけでなく、職員による日常点検を実施し、計画的な予防保全に努める。
- ⑥【環境への配慮】節電、節水、省エネルギー等に努めるとともに、廃棄物発生を可能な限り抑制し、環境負荷に配慮する。
- ⑦【設置者や地域社会との連携】市（設置者）との連携を密にし、施設の現状や課題など必要な情報を共有するため、適切な報告や資料提出を行う。地域社会や文化団体などと連携し、社会的責務を果たす。
- ⑧【設備・備品の適切な管理】施設や備品の使用及び保管は、市の基準に準じた備品台帳により適正に行う。なお備品の修理・交換が必要な場合はその都度、市（設置者）と協議を行う。

### ●運營業務

- ①【公正で公平な利用の確保と安全で快適な環境づくり】利用者が安全で安心して利用できるよう、適切な運營業務を行う。施設の設置目的との整合性を図りながら、市民の平等な利用の確保に努める。
- ②【適正で平等なサービス水準の向上】利用者が快適に施設利用できるよう適正なサービス水準を維持しつつICTの導入による更なる利便性の向上を目指し、常に業務の改善・効率化を図る。外部委託業者への複数年契約の導入、記念会館と文化会館の施設協働契約等を行うことによりコスト削減を図る。また職員の経費削減の取組はもとより、利用者の方々にも冷暖房温度の設定、水の節約等省エネルギーや環境への配慮と協力をお願いする。

- ③【利用促進に努める運営と情報発信】様々な媒体による広報活動や幅広い営業活動を行い、施設の利用促進を図るとともに、利用者や地域住民へ情報発信をおこなう。プレイガイドとして様々なコンサートやイベントのチケットを取り扱い、文化や地域の情報を提供する。
- ④【安定的収入の確保】施設利用料・付帯設備使用料の安定的な確保に向けて、宇部市内のみではなく県内における営業活動を行う。
- ⑤【市民参画による運営】当財団設立当初より導入している財団市民サポーターは、財団において自主文化事業を実施するにおいて、なくてはならない支援者となっているが、感染症の流行に伴い参画する機会を創出する事が困難な状況になっている。感染症が終息したのちに、以前より実施していた「サポーターミーティング」や、広く披見を賜りながら自主文化事業を選定していく「自主文化事業企画検討会議」を再開する。
- ⑥【職員の実績を活かしたアドバイスと技術支援】会館利用者の方や、文化活動者などをサポートするために、職員の専門性を活かした施設利用に対する適切なアドバイスを積極的に行う。また、需要が急増したインターネット回線を使った会議や動画配信についても、ソフト・ハード面ともに対応できるようにする。
- ⑦【法令遵守（コンプライアンス）を徹底した管理運営】施設管理に関する消防法等の諸法令や個人情報の適切な管理、労働基準法などの職員の労働環境の整備に関する法令など、全ての法令等を遵守し、コンプライアンスを徹底した運営業務を行う。
- ⑧【利用者の声を活かした運営】記念会館・文化会館に来られるすべてのお客様に対し、全職員がサービス業であることを念頭に置き接客をする。利用者の立場に立ち、何を望んでいるかを的確に把握し、快適に利用いただけるよう迅速かつ柔軟な対応をし、お客様の声を反映させた管理運営に努める。宇部市からのモニタリング（市実施の利用者アンケートのお客様の声反映）調査の結果を真摯に受け止め、利用者の立場に立った公平・平等なサービスに努める。

	2018年度 目標	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標
記念会館・文化会館 延べ来場者数	158,000人	161,000人	164,000人	167,000人
記念会館公演等回数	102回	104回	106回	108回
文化ホール公演等回数	107回	109回	111回	113回

●【記念会館 利用促進（活用活性化）事業】\*感染症の流行状況をみて実施

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名/実施概要	【目的】【効果】【ターゲット】	会場	事業費
1	通年随時	<p>◆参加型事業 「記念会館をもっと知ろう！」 ①幼稚園・保育園・小学校・中学校 単位にて実施 【継続事業】 ②親子・家族向け 【継続事業】 ③心も体も健康になろう【継続事業】</p> <p>身近にありながら、あまり知らない「渡辺翁記念会館」。その歴史と建築物としての魅力を「劇場・ホール探検ツアー」として体験する。また西日本一の音響として名をはせるホール内で音の響きを体験するとともに、参加者が将来の活動者になれるような感動体験の演出も組み込む事業。また、健康体操やけん玉大会、記念会館にまつわる謎解きゲーム等を併せて行う事で、幅広い年齢層の興味を持って貰える様にする。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】普段とは違うホール空間を見学し、音の素晴らしさ等を体験することで、感動を共有し、地元宇部への愛着とアイデンティティーが再確認できるとともに、自己肯定感へとつながる。また、経験価値が高まることで鑑賞者や活動者へとつながっていく事業。 【ターゲット】 ①市内幼稚園・保育園・小学校・中学生 ※学校・園単位にて受入・実施 ②小学生などの親子・家族 ③高齢者・各種施設入居者等</p>	記念会館及びロビー	12
2	8月ほか	<p>◆体験型事業 「ぶちええ響き！貸し切り記念会館」 【名称変更・継続事業】 2018年度まではグランドピアノの「スタインウェイを弾こう！」として実施。より市民のニーズに対応するため、ピアノだけでなく、得意な楽器演奏、ダンスの披露などに、貸切ることが通常難しい記念会館のステージでハレの舞台を体験していただく。 *記念会館の空き状況をみて年に数回実施。</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】ホールの空間を、自分の特技（ピアノ、楽器演奏、ダンス等）で満喫することにより、舞台に立つことの満足感を味わい、その後の文化活動へとつながっていく事業。 【ターゲット】 市民全般 *使用ピアノはヤマハグランドピアノ</p>	記念会館	36
3	未定 未定	<p>《渡辺翁記念会館活用誘致事業》 【継続事業】 ロビーや記念会館を利用して実施する事業を誘致し、参加者に気軽に足を運んでいただけるように実施する。  「コスプレ・イベント」 「ロビー・コンサート」 など</p>	<p>【目的】ホールの特性と文化的価値の再認識を促す事業。 【効果】文化の鑑賞機会の少ない層には会館への来場のきっかけとなるとともに、音楽活動者の発表の場の創出や、鑑賞者が活動者に発展する等、文化の愛好者・活動者の拡大につながり、ひいては記念会館とまちなかの賑わいの創出につながる。 【ターゲット】 10～70歳代の女性・男性</p>	記念会館及びロビー	50

6 その他事業

- 市の重点プロジェクトである「ICT・地域イノベーション推進プロジェクト」と連携し、ICT・IOTを活用した記念会館・文化会館の事業運営・サービス向上に努める。

●【その他事業】

(単位:千円)

No.	実施時期	事業名	実施概要	会場	事業費
1	通年	記念会館・文化会館 ICT化関連事業 【継続事業】	2020年度までに導入した、チケット販売管理システムや館内wi-fi等を引き続き運用し、利用者のニーズに沿ったサービスを提供していく。	記念会館 ・ 文化会館	850